

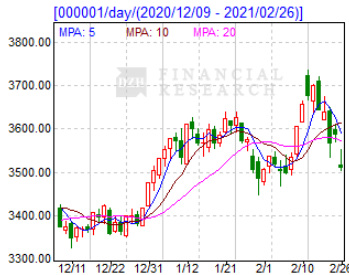


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	30,932.37	-469.64	-1.50	-1.78	1.06	30,606.48
NASDAQ	13,192.35	72.92	0.56	-4.92	2.36	12,888.28
日経225	28,966.01	-1,202.26	-3.99	-3.50	5.55	27,444.17
上海総合	3,509.08	-75.97	-2.12	-5.06	1.04	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,336.76	-132.80	-2.43	-7.65	2.41	5,211.29
ハンセン	28,980.21	-1,093.96	-3.64	-5.43	6.42	27,231.13
中国企業	11,247.21	-470.20	-4.01	-7.10	4.74	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は5.4%安と4週ぶりに反落、上海総合指数は5.1%安

香港市場ではハンセン指数が5.4%安と4週ぶりに大幅反落した。短期的な過熱感が意識されるなか、24日に株式取引の印紙税率の引き上げ発表を嫌気して大幅に下落。25日には買い戻しが入ったものの、米長期金利の急上昇を受けてハンセン指数は26日に急落。約1カ月ぶりに終値で29000ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が週間で5.1%安と4週ぶりに大幅反落。高値警戒感から足元で大きく上昇していた銘柄を中心に売られ、上海総合指数は週末26日に3500ポイント近くの水準まで下落した。

今週の展望:香港市場は買い戻し先行か、米長期金利には引き続き要警戒

香港市場は買い戻し先行か。先週の下げが大きかっただけに週初は押し目買いが入りやすいが、米長期金利の動きに対しては神経質に反応する地合いが続くそう。週末に米雇用統計の発表や中国の全国人民代表大会の開幕を控えており、週末にかけては様子見姿勢が強まる可能性もある。1日発表のハンセン指数の改革は既存銘柄にとってはマイナス面が大きい。本土市場も先週の大幅な下落を受けて週初は買い戻しが先行しそうだが、週末の全人代開幕を控えて徐々に様子見姿勢が強まる展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	8.63	13.11
2 華潤置地(01109)	36.85	12.01
3 新鴻基地産(00016)	124.60	9.39
4 万洲国際(00288)	6.96	7.24
5 長江実業地産(01113)	45.55	6.92
6 新世界発展(00017)	39.45	6.33
7 中銀香港(02388)	25.80	6.17
8 銀河娛樂(00027)	70.90	5.98
9 長江和記実業(00001)	58.60	5.97
10 ホンコン・ファイナンス(00003)	11.70	5.41

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团(03690)	340.00	-19.74
2 薬明生物技術(02269)	96.05	-18.05
3 小米集団(01810)	25.30	-17.46
4 安踏体育用品(02020)	119.00	-17.19
5 香港証券取引所(00388)	473.20	-16.54
6 吉利汽車(00175)	25.20	-13.85
7 舜宇光学科技(02382)	194.00	-13.39
8 中国蒙牛乳業(02319)	42.40	-13.20
9 バドワイザーAPAC(01876)	23.70	-12.87
10 申洲国際集団(02313)	161.10	-11.48

▼今週の主なイベント

- 3月1日(月)
 - 【香港】ハンセン指数改革の結果発表
 - 【米国】ISM 製造業景況指数(2月)
- 3月5日(金)
 - 【中国】全国人民代表大会開幕
 - 【米国】雇用統計(2月)

▼今週の期待材料

- ◆米下院で1.9兆米ドルのコロナ対策法案を可決、上院でも3月中旬までに可決の見通し
- ◆米長期金利の上昇が一服、10年債利回りは25日に1.6%まで上昇も26日は1.4%台まで低下
- ◆香港で新型コロナワクチンの接種が本格的に開始、香港政府は2250万回分のワクチンを確保

▼今週の懸念材料

- ◆1日にハンセン指数の改革発表へ、銘柄増やウェイト上限引き下げで多くの既存銘柄にとってマイナス材料
- ◆中国の2月の製造業PMIは50.6と前月から0.7ポイント低下、市場予想も下回る弱い結果に
- ◆5日に中国で全人代が開幕、全人代期間中の本土市場は過去15年で下落が10回と上昇の2倍

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 阿里健康 (00241) : ハンセン指数に15日付で新規採用、指数ウェイトは0.89%
- ☆ 創科実業 (00669) : 3日に20年12月本決算を発表、市場予想は23%増益
- ☆ 九龍倉置業地産 (01997) : 4日に20年12月本決算を発表、市場予想は85%増益
- ☆ 海底撈国際 (06862) : ハンセン指数に15日付で新規採用、指数ウェイトは0.58%
- ☆ アリババ集団 (09988) : ハンセン指数改革で恩恵か、指数ウェイト引き上げの公算
- ◇ 深セン国際 (00152) : 蘇寧易購集団への資本参加を発表、傘下企業を通じて株式取得
- ★ 北京首都国際機場 (00694) : 20年12月本決算は赤字転落の見通し、コロナなど影響
- ★ ペトロチャイナ (00857) : 中国企業指数から15日付で除外が決定
- ★ CNOOC (00883) : NY証取が同社ADRの上場廃止手続きの開始を発表
- ★ SMIC (00981) : レッドチップ指数からの除外が決定、15日付で発効

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。